

令和2年度
インキュベーションラボ
募集要領

独立行政法人 情報処理推進機構

1. インキュベーションラボについて

(1) 趣旨

インキュベーションラボとは、DADC が取り組むべき産業アーキテクチャのアイデア（テーマ）を、その実現に関心のある民間企業等から募集する枠組みです。

今回、インキュベーションラボとしての第一回の募集を 2020 年 8 月 11 日より開始しました。インキュベーションラボでは、Society 5.0 の実現を目的としたアーキテクチャ設計の本格化に向けて各種支援を実施し、必要に応じてアーキテクチャ設計の試行を行います。

インキュベーションラボで採択されたテーマは、DADC を中心に提案者及び多様な組織・機関・専門家と連携しながら、半年間を基本に以下に取り組みます。

- ゴール・目的の明確化と課題の構造化（創出される社会的価値、必要とする技術、産業領域の同定等）
- 規制当局含むステークホルダーの特定と関心の具体化
- アーキテクチャ設計を本格的に実施するためのアクションプラン整理 等

上記の取組みを通し、提案テーマの特徴を踏まえた解決すべきクリティカルな課題を明確にした後は、必要に応じ、多様なステークホルダーと連携したアーキテクチャ設計を本格化するためのワーキンググループ(WG)を DADC に設置することを目指します。

※半年間の議論を経てアーキテクチャ設計以外の取組みがより重要であると判断された場合には、必ずしも WG 設置を目指すのではなく、技術開発、標準化、普及啓発等の各種展開を支援する専門機関との連携も併せて検討します。

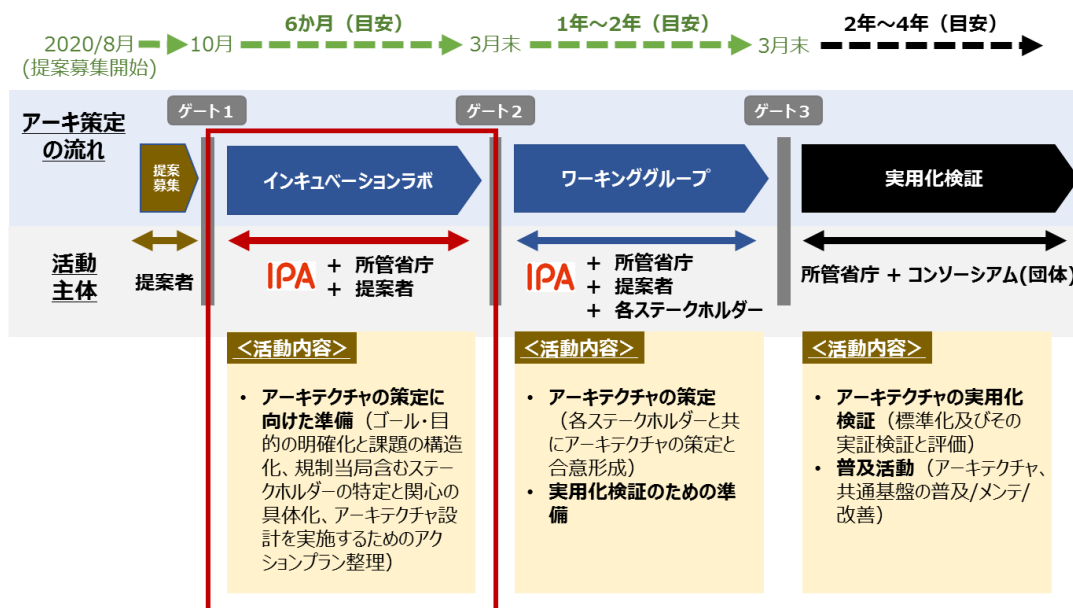


図 1 アーキテクチャ策定から実用化検証・普及までの流れ（イメージ）

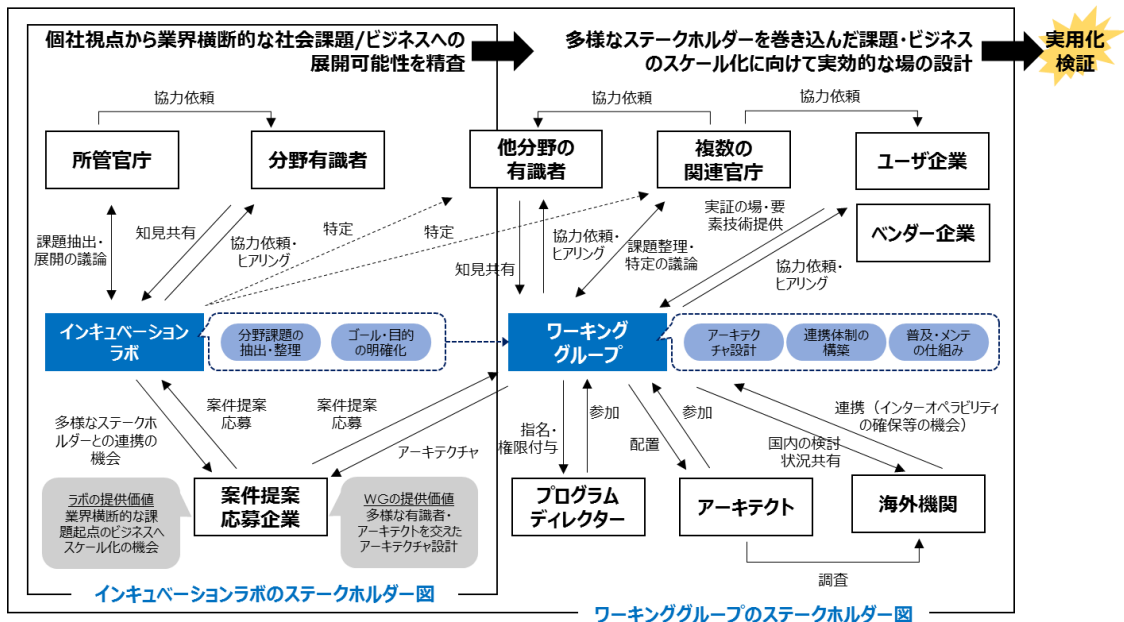


図 2 インキュベーションラボ後にワーキンググループ化する場合の実施事項・ステークホルダーとの連携（イメージ）

(2) インキュベーションラボにおける DADC による支援内容

前述のインキュベーションラボの取組みを推進するために、DADC が提案者やその他のステークホルダーと連携しながらアーキテクチャ設計に着手するための前提整理や設計の試行を主体的に行います。そのための DADC による支援内容は下記になります。

【アーキテクチャ設計推進のための支援例】

- 目指すべきゴール、提案テーマのもたらす社会的な価値、必要とする技術、産業領域、ステークホルダーの明確化・構造化
- そのための対象分野の国内外の技術、ビジネス、規制等の検討状況の整理
- 対象分野の関連企業、有識者、所管官庁等との議論の場の設定
- アーキテクチャ設計を先行的に推進する海外機関がある場合、その機関との議論の場の設定
- アーキテクチャ設計の試行
- 継続的議論のためのアクションプラン・展開方法の具体化 / 等

2. 募集要項

(1) 募集対象

本制度における募集対象は、企業、研究機関、学校、市民等によって構成される組織・団体等（以下「組織」）とします。活動主体の所在は問いません。

(2) 提案方法

以下の手順により、提案を行ってください。

1	提案書類の入手・確認	DADC 公式サイト (https://ipa.go.jp/dadc/incubationlab-2020.html) から、以下の書類をダウンロードし、内容を確認してください。 (A) 募集要領（本資料） (B) 提案書類
2	提案書類の提出	提案組織は本要領に従い提案書類を作成し、提出期限及び提出先に基づいて提出ください。 提出期限：2020年9月11日（金） 提出形式：提案書類をダウンロードし、内容記入の上、PDF化したもの。※PDF化は必須です。PDF形式以外の資料は受領しません。 提出先：dadc-lab@ipa.go.jp にメール添付による送付
3	提案完了	提出された提案書類の到着を持って、提案完了とします。

※選定後に、採択テーマについては、提案組織の事前の承諾を得た上で、必要に応じて要約・編集等を行った上で、公開する場合があります。

※本募集の内容、手続き、提出書類等についてご質問がある場合には、「問い合わせ」の宛先に E-mail にてお問い合わせください。

(3) 募集期間

募集期間：2020年8月11日（火）から9月11日（金）

3. 説明動画の公開

インキュベーションラボの提案募集について、YouTubeにて説明動画を配信予定です。ご関心をお持ちの方は dadc-lab@ipa.go.jp に「お名前、所属先」を記載のうえ、ご連絡ください。ご連絡を頂いた方に動画 URL を Eメールにてお知らせいたします。

ご質問、ご疑問等については、お問合せ先で受け付けております。

4. 審査

(1) 審査の視点

インキュベーションラボのテーマ選定にあたっては、下記の視点から評価選定を行います。

- **規制分野、政府公共調達分野、産業基盤分野** に関するもの
 - 規制分野：最新のデジタル制御・管理システムを前提に新たな規制体系の確立や規制手法の高度化が求められている分野
 - 政府・公共調達分野：無駄をなくし、より効率的なシステム構築が求められている分野
 - 産業基盤分野：業種を横断して多様なプレイヤーが関与、全体の整理に国が関与すべき分野
- Society 5.0 の実現に寄与し、分野横断的かつ社会的課題に対するソリューションとしての展開が見込めるような、生活や産業の基盤に関する課題・テーマであること
- ルール・規制の再設計や社会のガバナンスの再定義等も解決手段として想定されること
- 市場の国際化が加速し、我が国産業の競争力の強化あるいは産業構造の再定義が必要とされている分野であること
- 複数の規程当局や既存、新規の産業界のプレイヤー、コアとなるユーザー等ステークホルダーの多様性及びそれぞれの考え方の多様性が高く、アーキテクチャの設計により課題の解決が見込めるもの
- アクションプランについて記載があり、具体的な目指す姿や検討事項が示されていること

(2) 審査手順

提案されたテーマの審査は、DADCにおいて開催される有識者会議による審議を経て、DADCが決定します。

審査に当たって、追加資料の提出や追加の説明等をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。

5. 公表

(1) 審査結果の発表

審査の結果、採択されることとなったインキュベーションラボの取組を推進するテーマ概要を DADC 公式サイト (<https://www.ipa.go.jp/dadc/>) に掲載します。

※提案書類等の記載内容に事実と異なることや他の権利等の侵害があると判明した場合など、発表後であっても選定を取り消し、又は、留保することがあります。

※選定前後に関わらず、提案書類に記載した内容に変更が生じた場合、インキュベーションラボ事務局へ早急に連絡し、実施計画書を再提出する必要があります。

※選定後に、採択テーマについては、提案組織の事前の承諾を得た上で、必要に応じて要約・編集等を行った上で、公開する場合があります。

(2) インキュベーションラボの取組成果の発表

インキュベーションラボでの取組成果は、取組実施期間を終えたタイミングで DADC 公式サイト (<https://www.ipa.go.jp/dadc/>) に掲載・公開されます。

技術情報流出防止の観点から、検討において参加者により作成される資料等の内容及び公開時期につき、参加者と相談のうえ適切な運用を図ります。

6. 実施スケジュール

募集期間：2020年8月11日(火)～9月11日(金)

審査期間：2020年9月14日(月)～9月25日(金)

結果公表：2020年9月29日(火) (予定)

取組実施期間：開始日（6. に記載の秘密保持契約を締結し、取組を開始した日）から半年間

7. その他留意事項

(1) 秘密保持契約

採択時には、DADC との間で、秘密保持契約を締結していただきます。

(2) 知的財産権の方針

DADC として設計するアーキテクチャは、社会の基盤として様々なステークホルダーが広く活用することを想定しているため、インキュベーションラボ取組の成果には誰でも円滑かつ容易にアクセスできることが原則となります。

他方で、仮に議論の過程においてステークホルダー間の知的財産権が絡む場面が生じる場合には、こうした原則に配慮した上で、参画するステークホルダー間（DADC も含

む) で知財の取り扱いを都度検討していく方針です。

8. 問い合わせ先

本件に関するご意見・お問い合わせは以下の連絡先へお寄せください。

IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター
菊地、高橋
E-mail : dadc-lab@ipa.go.jp